

道徳だより



矢板市立片岡小学校

9月10日(土)、晴天の下で本校の運動会が行われました。多くの保護者の皆様に御協力いただき、子どもたちの活躍する姿を御覧に入れることができました。本当にありがとうございました。

子どもたちは、残暑厳しい中、毎日練習を重ねてきました。運動会というと、体力面での発表であると考えられがちです。しかし、これまでの教育活動の中で培ってきたさまざまな力を発揮できる場でもあります。運動会を通して、子どもたちがどんな力を育んだか、どんな力を身に付けることができたか、6年生の日記から、心の成長を見てみましょう。

私は放送係でしたが、今まで放送はそんなにしたことがないし、運動会はアドリブで言うことも多いので、うまくできるか心配でした。でも、やってみると結構楽しくて、もっとやりたくなりました。

それに、先生や友達に、「上手だったよ」とか、「聞きやすかったよ」とか言われると、すごくうれしかったです。

けれど、やっぱり〇〇さんはいつも放送しているだけあって、言葉選びがうまいなと思いました。

その子に合った仕事で、個性を発揮することができます。その仕事をやりながら掛けられる誉め言葉は、ますます自信につながります。と同時に、同じ仕事を担当しているこの様子も冷静に見て、自分と比較しているところがすごいです。



去年も思ったけど、応えん団はすごいなと思いました。白組の応えん団が近くにいたときにそれを見ていたのですが、さすが6年生は声も出ているし、最後まで動きがしっかりしているなと思いました。大きいから見栄えもするし、カッコいいなと思いました。

5年生のうちに、来年は自分たちが運動会を引っ張っていくんだという自覚をもたせ、自分たちだったらどうするかという目で6年生の動きを見させておきました。それが、去年との比較という視点をもたせることになります。こうして、自分たちの成長を感じています。



私は準備係でした。今日は、全校生のために失敗しないようにがんばろうという目標を立てました。けれど、本番はうまくいきませんでした。PTAの方のまり入れで、かごをまちがえてしまったからです。みなさんに、申し訳なかったなと思いました。でも、くじけないでやりました。

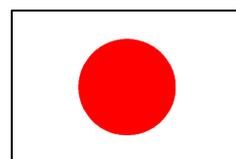
自分に与えられた役割の責任を果たそうと、目標をもって働こうとしています。事前の打ち合わせはあるものの、図面での話では理解できないことも多いです。準備係は、ぶっつけ本番。先々を考えて、道具の出し入れをしなければなりません。そんな中でのアクシデントです。目標があっただけに失敗にがく然としながらも、プログラムは進んでいきます。落ちこんでいる間はありません。気持ちを切り替えて、次の仕事をするを学んでいます。



私は、国旗を担当しました。行進の時に、国旗にしわができないようにしました。それがとても大変で、難しかったです。けれど、しっかりしないと失礼だと思い、力を思い切り出して行進しました。

国旗降納は、すばやくきれいに降ろせました。役目が果たせてうれしいし、達成感もありました。

スムーズに進んだ開会式や閉会式。しかし、担当している子どもたちは、注意を受けながら何度も何度も練習します。その上での本番です。緊張もするでしょう。会場の視線が集まる中で、堂々とやり遂げた瞬間は、天にも昇る心地です。



「私たちの道徳 小学校5・6年」から・・・



みんなの中で君がかがやく

はなやかな、楽な仕事はだれでも受けもとうとする。しかし、目立たない仕事をコツコツやる人。失敗しても、にげないで、責任を堂々ととる人。そして、受けもった仕事を一生懸命やることに喜びを感じる人。そういう「みんなのために働く」人があって初めて、大きな仕事ができ、みんなが幸せに暮らすことができるんだ。(役割と責任の自覚)